

踏まれ踏まれても生き返る

NO.38 2025.9.4

COM-MATCHAN

いたばし雑草通信

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。

編集：発行 木村松夫

090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

com-matchan@hotmail.co.jp

板橋区立エコポリスセンター「かんきょう観察員」登録
地域自主活動グループのWEBページでも閲覧できます。ほかのグループのレポートも見てください

鱗(うろこ)雲の秋空

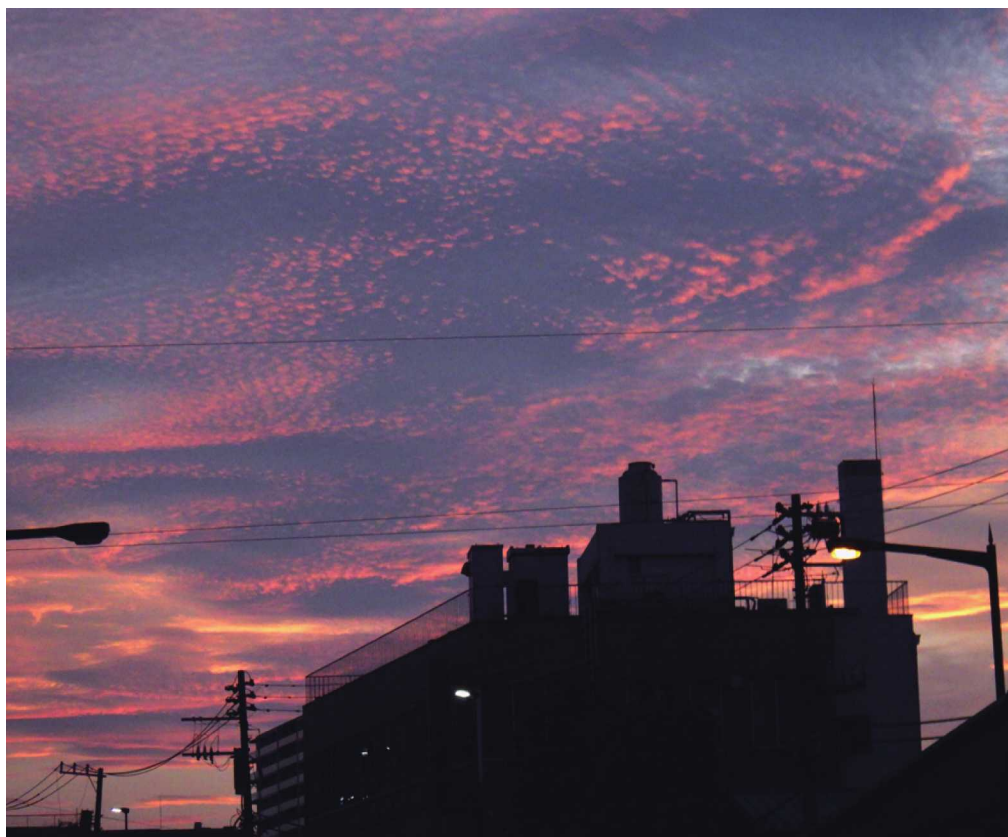
なのにますます暑くなる昨今 蓄熱する都市構造も問題だ！

8月の終わり、夕焼けの西の空には久しぶりに鱗雲が浮き上がり、やっと秋が来たのかと思ったのも幻、昔の夏ならば陽が落ちると涼しい風が吹いてきたのに、最近では真夜中になっても気温が下がる気配なし。

道を歩いていると、上から降り注ぐ太陽の熱に加えて、アスファルトの道路や鉄筋ビルの壁から放射される輻射熱の強烈さに目がくらみます。

都市構造そのものが蓄熱・発熱装置となってしまっているのが日本列島の亜熱帯化を促す一因かもしれません。

冷房の設定温度を高くしてできるだけ排熱温度を低くすること、アスファルトやコンクリートの道路をできるだけ土に戻して、雨水が地下に涵養されるようにし、まちの中のみどりを増やして空気の浄化を促す、人口流入を抑えること等々、都市の自然環境を戻していく努力が必要です。

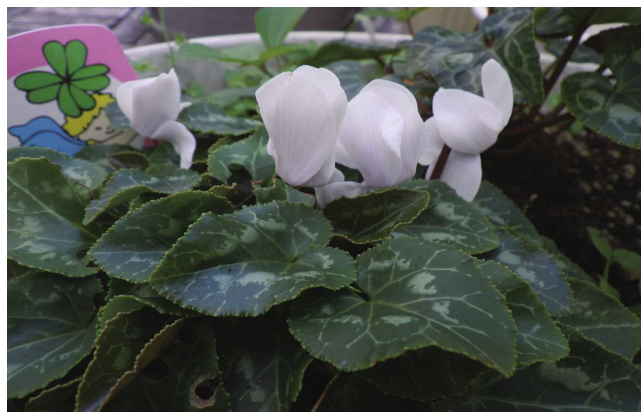


熱帯化の一方で「冬の花」ガーデンシクラメンが咲いた！？

玄関先のフェンスに吊るしたプランターで育てていたガーデンシクラメン。暖かい季節になっても青々とした葉を伸ばしているの、別の鉢に植え替えて保存していたところ、8月になって咲き始めました。1975年に大ヒットした布施明さんの♪シクラメンのかほり♪は、わたしの認識では冬の歌で、実際、近年花屋さんで売っている小型のガーデンシクラメンは冬でも露地植えできれいな花を咲かせてくれるのが特徴。

夏の季節の花が冬まで咲いている一方で、冬の花が真夏に咲くとはどういうことなのでしょう？

植物が体内に持っている季節感覚までもおかしくなっているのかもしれませんが。そうだとすると、その種の種族保存本能がそうさせているのだから、「自然って、すごいなあ」とまずは現実を認めることから見直しです。



またまた発見！ 普通の街路で「これなあに？」の花



毎日のように歩いている環状七号線の街路、バス停のそばのサツキツツジの植え込みを覆って葉を広げている植物がありました。かなり以前から繁殖していたに違いないのですが、葉の形や色からしてこれまではヘクソカズラかな

んかだろうと思い過ごしていたのでしょうか、あまり気にとめていませんでした。ところが、今年の8月普段その辺では見かけない花が咲きました。

スマホの植物検索アプリPicture Thisで調べたところ「コイケマ」と出ました。このPicture Thisは全面的には信用してはならない代物なので、植物図鑑やいろいろなインターネット情報を見たところ、どうもコイケマではなさそうです。さらに調べたところ、ようやく**ガガイモ**（キョウチクトウ科）らしいと分かりました。都立赤塚公園では2か所でしか観察できない比較的珍しい種ですが、特徴が毛だらけの果実にあるので、花についてはあまり注意を払ってきませんでした。結実まで要観察です。

自然の生命力を考えさせられる

元赤塚公園サービスセンタースタッフ杉本尚隆さんからのメール

8/14号（No37）で反戦を訴えましたが、早速、反応がありました。赤塚公園ではもっとも息を合わせて保護活動を進めることができたスタッフ杉本さんです。現在は奥多摩方面で植物観察のリーダーを務めながら素晴らしい植物写真を撮って活躍中です。以下、ご紹介します。

木村さん 明日は、敗戦記念日ですね。

いつもありがとうございます。毎回、意義深く読ませていただいています。

世の中、人の心は偏狭になるし、気候はおかしいは、でどうなっていくのでしょうか？

先日、NHKで放送された番組、福山雅治さんの「被爆クスノキ」はご覧になりましたか？

福山さんの思いが伝わる内容であると同時にクスノキの持つ生命力など考えさせられます。

広島イチョウやらアオギリやら、すごいですね。／杉本
主義や主張は違ってもかもしれないけれど、**時代がおかしくなっていくこと、自然の生命力に敬意を表することに共感**できる人がいることがうれしいです。



孫が学校から持ち帰ったアサガオ。小さいポットなのですぐ水枯れして葉が萎れてしまいます。水やりすると、葉は見る見るうちに生きいきとってきます。アサガオのつるは2mはあるのですが、毛細管現象で水が吸いあげられてくるのです。茎が透明だったら、遡上する水の流れがきれいでしょうね。人工の電力などとは無縁の自然の生命力はここにも見られます。

人はその自然力を征服するのではなく、畏敬をもって受け容れるべきなのでしょう。